

バチルス・メガテリウム由来のネイティブジアフォラーゼ (NADPH)

Cat. No. NATE-1154

Lot. No. (See product label)

はじめに

 \Box 明 酵素学において、NADPHデヒドロゲナーゼ(EC 1.6.99.1)は、次の化学反 \Box を触媒する酵素

です: NADPH + H+ + 受容体 \leftrightarrow NADP+ + 還元された受容体。この酵素の3つの基質は NADPH、H+、および受容体であり、2つの生成物はNADP+と還元された受容体です。この 酵素は、酸化還元酵素のファミリーに属し、特に他の受容体とともにNADHまたはNADPHに

作用するものです。

用途 還元型NADPの酵素的測定に役立ちます。

*別名*NADPH: 受容体酸化還元酵素; NADPH2 ジアフォラーゼ; NADPH ジアフォラーゼ; OYE; ジア

フォラーゼ;ジヒドロニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸脱水素酵素; NADPH-脱水素酵素; NADPH-ジアフォラーゼ; NADPH2-脱水素酵素; 古い黄色酵素; 還元型ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸脱水素酵素; TPNH 脱水素酵素; TPNH-ジアフォラーゼ; トリホスホピリジンジアフォラーゼ; トリホスホピリジンヌクレオチドジアフォラーゼ; NADPH2

脱水素酵素; NADPH: (受容体) 酸化還元酵素; NADPH 脱水素酵素; EC 1.6.99.1

製品情報

由来 バチルス・メガテリウム

外□ 黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

形態 フリーズドライパウダー

EC番号 EC 1.6.99.1

*CAS*登□番号 9001-68-7

分子量 48 kDa (ゲル濾過)

活性 5 U/mg 固体以上

混入物 マイオキナーゼ **< 0.50%**

等電点 3

pH安定性 6.5–9.0

最適pH 7.0–9.0

熱安定性 60°C以下で安定

ミカエリス定数 NADPH 2.9 × 10-4M

活性化因子 FMN、FAD

単位定義 1単位は、アッセイ手順で指定された条件下で、30°Cで1分間に1μmoleのNADPHを

NADP+に酸化する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 少なくとも**1**年間-**20°C**で